

「本山寺山森林づくりの会」活動報告(4/04)

文・写真：武田、写真：豊田、山田

日時：2019(平成31)年4月4日(木) 9:30～16:00

気象：天候=晴(気温：12℃)

活動エリア：東海自然歩道の本山寺⇄ポンポン山間の約2.6kmを往復

活動内容：路面補修と支障木除伐、目立つ枯損木の除伐など

参加者：猪川 誠、泉家恵子、石原順子、内海宏一、斧田一陽、工藤貴士、薦田佳一、武田壽夫、
豊田哲也、宮本 廣、山田真也 計12名

<ポンポン山への道—その復旧具合は如何?>

当会の活動地はぼんぽん山への東海自然歩道を東端に北は天狗杉を越えて約50mの地点迄、先は足を伸ばしたことが無い。昨年の台風で遮られた歩道の倒木は片付けられ、通行に支障なしとは聞かすが、手前の本山寺山をお守りしている当方としても、一度踏査して必要があれば手を加えておきたい。

折から、H30年度のさともり推進協議会の事業年度は3月で終り、新年度の始まりは今月中旬からで今日は補助金給付期間の切れ目、そんな事情も与ってポンポン山への遠征とになった。傷んだ水切り溝や標識、倒れそうな根起し、崩れかかった路肩、等々、いろんな状況を想定し、バチ鋏、カケヤ、高枝切り鋸など、装備万端整えて出発する。

ところで、皆さんは山道を「歩く」、「駆け抜ける」どちらで山を楽しんでおられるだろうか。実は、山への親しみ方によって前方への目線は違って、歩きのハイカーに比べトレイルランナーはアップダウンの山道では相当先まで見えていないと対向者に気付くのが遅れ「ゴツンコ」しかねない(*)。枝を道に被せる根起しは10m先も見え難くしてしまうし、何時かは倒れ兼ねない、従って除伐しておいた方が「安全」ということになる。勿論、この機会に切り残しや枯損木などもきれいにしておきたい。

(*)「トレイルランナー安全・マナーガイド」：④「(ハイカーやランナーとの)すれ違い・追い越しは、必ず歩いて」

空は青空、気温12℃、微風、山頂広場では「山名」に魅かれてという岡山県からの山ガール組、二人連れの外国人、等々、賑やかで比叡から愛宕と眺望も絶佳、我々の作業ぶりを目にしては「ご苦労さま」「有難う」の声。振り返って充実した一日ではありました。

<今日の成果>

天狗杉からはアップダウンの尾根道で、倒れこんだ(であろう)木々は玉切りされて通行には全く支障がない。ただ、道の左右には根起しで枝を道に被せている広葉樹が散見された。また、大小の枯損木も少々、倒れると危ないし見苦しくもある。その他、爪先を引掛けそうな露出した根や折り曲げられた警告標など、結構な作業量になり、往復の所用時間は計6時間。(作業の様子は写真編で)

<季節の山だより>

ポンポン山の守り神(ケルンの「トカゲ様」と咲き始めた「カタクリ」

<ポンポン山で>



<水切りの補修(本山寺山山城)>



<力わざで警告標識を引き起す>



<道に被さる「根起し」を片付ける>



<露出した「根」を切り除く>



<歩道脇から倒れ込んだ「根起し」>



<これも除伐した方が安全>



<枝が視界を妨げかねぬ「根起し」>



<先端の枝から切り始める>



<見通しが良くなった歩道>



<日差しが眩しい「蜥蜴」さま>



<早咲きの「カタクリ」>

